

数学

注意

1. 問題は全部で3題あり、冊子は計算用の余白もあわせて8ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。（ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。）
3. 解答は解答用紙の指定された欄に記入すること。指定の欄以外に記入されたものは採点の対象としない。
4. 問題2、3の解答については、論述なしで結果だけ記しても、正解とは見なさない。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはならない。
6. 解答用紙はすべて必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ってよい。

マーク・シート記入上の注意については、この問題冊子の裏表紙に記載されているので試験開始までに確認すること。ただし、冊子を開いてはならない。

[計算用余白]

[計算用余白]

1 解答を解答用紙(その1)に記入せよ.

(1) 不等式 $27^x - 13 \cdot 9^x + 13 \cdot 3^{x+1} - 27 > 0$ を満たす x の値の範囲は

$$\boxed{1} < x < \boxed{2} \text{ または } x > \boxed{3} \text{ である.}$$

(2) 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和が $S_n = 3n^2 + 4n + 2$ であるとき,

$$a_1 = \boxed{4}, \quad n \geq 2 \text{ のとき } a_n = \boxed{5}n + \boxed{6} \text{ である.}$$

(3) 2つの単位ベクトル \vec{a}, \vec{b} が $|\vec{a} + \vec{b}| = \sqrt{3} |\vec{a} - \vec{b}|$ を満たすとき,

$$\text{その内積は } \vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{\boxed{7}}{\boxed{8}} \text{ である.}$$

[計算用余白]

2

解答を解答用紙(その2)の2欄に記入せよ.

a と b を実数とする。3次方程式 $x^3 + ax^2 + bx + a + 1 = 0$ が -1 を解に持つとき、次の間に答えよ。

(1) b を a を用いて表せ。

(2) 3次方程式 $x^3 + ax^2 + bx + a + 1 = 0$ が、実部が負の虚数解を持つような a の値の範囲を求めよ。

〔計算用余白〕

3

解答を解答用紙(その3)の3欄に記入せよ。

$a > 0$ とする。放物線 $C : y = x^2$ 上の点 (a, a^2) における接線を ℓ_1 とし、 C の接線で ℓ_1 と直交するものを ℓ_2 とする。また、 ℓ_1 と ℓ_2 の交点を P とする。次の間に答えよ。

(1) ℓ_2 と C の接点の座標を a を用いて表せ。

(2) P の座標を a を用いて表せ。

(3) P が y 軸上にあるとき、 C と ℓ_1 、 ℓ_2 で囲まれた部分の面積を求めよ。

[計算用余白]



マーク・シート記入上の注意

- 1 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークすること。
- 2 問題の文中の

1

,

2

3

 などには、特に指示がないかぎり、符号(-), 数字(0~9)又は文字(a~d)が入る。1, 2, 3, … の一つ一つは、これらのいずれか一つに対応する。それらを解答用紙の 1, 2, 3, … で示された解答欄にマークして答えよ。

例

1

2

3

 に -83 と答えたいとき

1	<input checked="" type="radio"/>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d
2	<input type="radio"/>	0	1	2	3	4	5	6	7	<input checked="" type="radio"/>	9	a	b	c	d
3	<input type="radio"/>	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d

なお、同一の問題文中に

1

,

2

3

 などが 2 度以上現れる場合、2 度目以降は、

1

,

2

3

 のように細字で表記する。

- 3 分数形で解答する場合、分数の符号は分子につけ、分母につけてはいけない。

例えば、

4	5
<hr/>	

 に $-\frac{4}{5}$ と答えたいときは、 $\frac{-4}{5}$ として答えよ。

また、それ以上約分できない形で答えること。

例えば、 $\frac{3}{4}$ と答えるところを、 $\frac{6}{8}$ のように答えてはいけない。

- 4 根号あるいは対数を含む形で解答する場合は、根号の中や真数に現れる自然数が最小となる形で答えよ。

例えば、

7

 $\sqrt{\boxed{8}}$ に $4\sqrt{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$ のように答えてはいけない。また、

9

 $\log_2 \boxed{10}$ に $6\log_2 3$ と答えるところを、 $3\log_2 9$ のように答えてはいけない。

- 5 分数形で根号を含む形で解答する場合、

11

 +

12

 $\sqrt{\boxed{13}}$

14

 に $\frac{3+2\sqrt{2}}{2}$

と答えるところを、 $\frac{6+4\sqrt{2}}{4}$ や $\frac{6+2\sqrt{8}}{4}$ のように答えてはいけない。